

仁多地域統合小学校の建設地が三成小学校敷地に決定しました！

糸原町長は、12月5日に行われた奥出雲町議会12月定例会の初日に、仁多地域統合小学校の建設地を三成小学校敷地とすることを表明し、その理由を説明した上で、関連補正予算を議会に上程しました。関連補正予算は即日審議に掛けられ、議会はこれを全会一致で可決しました。これにより、**仁多地域統合小学校は三成小学校敷地に建設されることが正式に決定しました。**

【糸原町長の説明(一部抜粋)】

- ・財政上の見通しが立てば、統合小学校体育館を町民体育館兼用施設として改築を行い、町民体育館跡地を要望の強い三成地区の今後のまちづくりのために確保したい(町体敷地約3,500㎡を商業スペースに)。
- ・すべての学校長が三成小学校敷地を適地とする意見であり、教育現場全ての責任者の意見を重く受け止めた。
- ・三成地区アンケート結果や自治会意見を無視し、仮に仁多中学校隣接地に統合小学校を建設した場合、今後のまちづくりを進めていくことは極めて困難と考えられる。
- ・複数年におよぶ中学校生徒への工事の影響(騒音等)は多大と考える。仁多中学校のレッドゾーン解消は、小学校統合の位置の如何に関わらず対策を進めていく考え。
- ・町財政を考えた場合、事業費の総額が明らかに大きい方を選択することは困難である上に、不測な追加工事等や工期の延長が発生する可能性がある仁多中裏山の大規模な造成工事は可能な限り避けるべきと判断した。

全文は奥出雲町ホームページ [トップページ](#) > 奥出雲町の教育 > 教育委員会からのお知らせ【小学校再編】仁多地域統合小学校建設地の決定について [をご覧ください。](#)

統合小学校関連補正予算の内容

- ・代替校舎設計費

1,500万円

- ・三成小プールの解体工事費など

約4,200万円

仁多地域統合小学校建設(案)

- ・見直し案により、町内最大の約6,000㎡のグラウンドが確保できる。
- ・財政の見通しが立てば体育館は町民体育館兼用施設(1,200㎡)として改築されます。
- ・令和8年4月の開校を目指す。



三成小耐震代替校舎建設(案)

- ・令和5年10月から耐震代替校舎に移行される予定。
- ・未耐震校舎である布勢小学校は令和8年を前倒して三成小学校に統合する可能性があります(今後、布勢地区で検討・協議されます)。



【編集後記】 町長の判断理由にもあった通り、保護者を含む三成地区住民の声(アンケート結果)は建設地決定に際し、大変大きな意味を持ったと思います。アンケートへ協力いただき本当にありがとうございました。対立構図にあった教育と経済の両方の実現を同時に目指す、糸原町長の案には感銘を受けました。

【制作】

令和4年12月14日
三成小校區別協議会
広報部会

